

いいまち 議会だより

2025年1月15日

第109号

発行：長野県飯島町議会

特集

私たち中学生は
これからも飯島と共に p2~3



「議会・議員ってなあ〜に」講座開催 p16

飯島中学校

写真／議会広報委員会
飯島中学校3年生

飯島町議会の情報を発信中！▶



YouTube



X



Facebook



Instagram

12/9(月)に

町議会に行って来ました!

未来の飯島町へ



湯澤 麻友

中学校について!

私は、前の先輩方からずっと受け継がれてきた制服が変わることは少し寂しい気持ちもありますが、変わることで新しい飯島中学校になって飯島町が進化していく一歩になると思います。県外や町外の人から見て飯島が変わっていることが目に見えて分かると思うので、これからの飯島に期待が高まりました。

町の安全!

町の安全のために主に消防団のことについて話していました。最初は、どんなことについて話しているのかわからなかったんですが、話を聞いて飯島町のためにいろいろなことを考えているんだなと知れて嬉しかったです。私も飯島町のために出来ることをしていきたいです。



田畑 ゆず希



湯浅 美優

町を元気!

飯島町の人口減少や、高齢化についてお話をしていました。町が、さらに発展できるように、議員さん一人一人が真剣に向き合っているところがとても印象的でした。私も、町のことを自分ごととして考えていきたいです。



私たち中学3年生は、
修学旅行でポストカードなどで
町のPRをしてきました!



総合の時間

つくる

町の特産物を使って
飯島町をPRしよう

大福

大福作りを通して飯島町のことをもっと知ってもらえるきっかけになったと思います。



米

米づくりを通して、若い人たちに米づくりの魅力を知ってもらうため活動してきました。



わら

修学旅行先に龍の置き物を送りました。産業祭り、米俵マラソンで作った米俵を販売して地域以外の方にも、飯島のわら細工の良さを知ってもらうことができました。



ジュース

飯島町のりんごとなしを使って飯島町で有名な花火をイメージして作りました。



荒巻 月渚

レジン

飯島町で育てている花を使って、飯島町をPRするために活動してきました。



北澤 夢雅

ボランティア

町の人を笑顔にしよう



大嶋 惟吹

梨

飯島の特産物を支える農家の皆さんの手伝いを行いました。



清掃活動

飯島町をさらに安全で綺麗な町にするため、学校を中心に町の清掃をしてきました。



劇

町の人に喜んでもらうために1から自分たちで台本を作って、いいちゃん文化祭で披露しました。



清水 美羽



イベント

イベントを通して、飯島の町内、町外の人に伝える



下島 香里奈

ラブフェス

ラブリーフェスタでは、イベントを盛り上げるためにスーパーボールすくい、コイン落とし、ベビーカーテラ、ポップコーンの販売をしました。



PR

飯島町をいろんな人にPRしよう



市村 明音

広報誌

飯島町のことを知らない方にもっと飯島を知ってもらうため、広報を書いてきました。



米俵

米俵マラソンでは、町内外の方に飯島町の良さを知ってもらうために飯島町の特産物を委託販売をしたり、あんどん作り、当日のボランティアを行いました。



CM大賞

若いひとや、お子さんがいる家庭の人に興味を持ってもらうため全国に、飯島町の魅力を届けられるCM大賞に応募しました。



小森 琉生



産業祭り

産業祭りでは、イベントを盛り上げるために当日、ボランティアを行いました。



林田 啓汰

銀座NAGANO

銀座NAGANOでは、飯島町の魅力について飯島町への移住を少しでも考えている方にプレゼンを行いました。



修学旅行でPR係が作ったポストカードなどを春日大社でPRしてきました。渡す時は緊張しましたが渡すことができました。これからは、この飯島町で地域の方と中学生が共に協力して町のイベントを作っていく、この町が今以上に活性化していくといいなと思います。

私たち3年生が行ってきた飯島町を活性化させる活動をずっと続けていき、さらに良い飯島町を飯島町民で作っていききたいです。そのためには、今までと同じように町の行事に積極的に参加し、まだ飯島を知らない方達に広めていきたいです。

飯島町を離れるとしても飯島町のことを思い続け、周りの人に飯島町のことを伝えていきたいと思いました。これからの飯島町がもっとよくなり、町内外の方に飯島町の魅力が伝われば良いなと思います。

自分たちの活動の影響で町が前よりも良くなっていいと思います。さらに未来の中学生の方たちも、ずっと飯島を好きでいてくれたら嬉しいです。若い人たちがたくさん移住してきて、高齢者の方をたくさん支えられるような町になって欲しいです。

私たち中学生は、これからも飯島と共に…。

集会所の土地、誰の土地？

総務産業委員会は、令和6年度補正予算案件3件の事業調査を行った。本会議より付託を受けた条例案件1件・陳情案件1件の審査を行った。調査・審査の時に出了た主要内容は以下のとおり。

令和6年度 補正予算

一般会計（第5号）

◆総務課

問 機構改革に伴う工事内容は。

答 高齢者にも優しい環境を目指すためローカウンターを設置し、オープンスペース・待合スペースにパーテーションを設置。

問 健康福祉課などは個人的な相談が多い。小部屋など設置の検討は。

答 所管課から要望があるが、今回の工事には入っていない。

問 書かない窓口システムの説明を。

答 住民票取得などの書類にマイナンバーカードを読み込ませ記載の簡略化を図る仕組み。

◆企画政策課

問 土地購入費の内容は。

答 新田自治会の集会所用地の取得。名義は町で管理は自治会が行う。

問 この対応は一般的か。

答 現状は統一ルールを定めてなく、その都度対応。

◆産業振興課

問 農業振興総合対策事業は再々の補正であるが説明を。

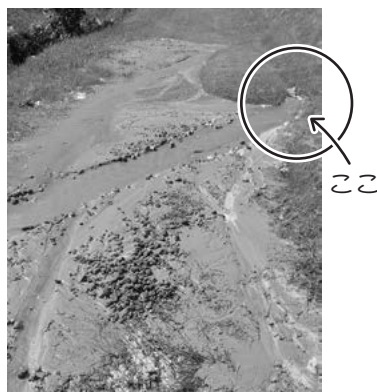
答 農業事業者からの申請が多いため。年度末までこの支援が継続できるように対応した。

問 工事請負費（農地造成工事）の内容は。

答 石曾根地区ファミリーマート東側の法面が大雨により亀裂が生じたため修繕を実施。

問 写真の亀裂は私有地か。

答 私有地だが、法面の下に町



大雨による爪痕

道・河川があるため災害復旧と同じ考えで対応。

水道事業会計（第2号）

問 衛星による漏水調査の結果は出たのか。

答 出ている。現在それをもとに調査を進めている。

下水道事業会計（第2号）

質疑なし

与田切公園指定管理者

可決すべきもの

与田切公園の指定管理者の指定
問 令和5年度決算のコールセンター等経費とは。

答 予約関係は伊那リゾート本社で受けており、その人件費となつぷWEB予約の金額。

問 キャンプブームは下火、今後の事業へ町からの提案は。

答 人を呼び込む策を検討。遊具が少ないとの声も聴く。今後の公園再生計画に盛り込む。

討 論

賛成 実績も上がってきている。

実績を踏まえた中で、利用者のサービス向上に向け、今後弱点を理解し取り組んでほしい。

賛成 加点項目を除いてもトップである。町民が参加できるイベントを企画することに期待。

反対 町民のための公園の部分が弱い。再考すべき。管理期間を2年とすべき。

採 決

賛成 4 不賛成 1

陳 情

不採択とすべきもの

消費税率の5%への引き下げを求める

参考人 上伊那民主商工会

副会長 滝沢 孝夫氏

問 提案の趣旨からすれば消費税の廃止でないか。

答 消費税導入後地域経済は衰退している。社会保障の問題、税制の問題もあり5%とした。

討 論

賛成 現在は半数以上が消費税・社会保障も少なく、税制を見直すべきだ。欧米諸国は社会保障が手厚い。税制全体の歪みを正す必要がある。

反対 世界的に見ても日本の税率は低い。消費税がすべてではない。国の財政方針もある。

採 決

趣旨採択 1 原案に賛成 1
原案に不賛成 3

【お詫び】 議会だより第108号 P.4 建設水道課への間において耐震診断をした件数を「16件」と記載しましたが、正しくは、「7件」です。お詫びして訂正致します。

すし詰め状態の学童クラブ

社会文教委員会は、令和6年度補正予算4件の事業調査を行った。また、本会議より付託された陳情2件の審査を行った。出された主な内容は以下のとおり。

令和6年度補正予算

一般会計（第5号）

◆住民税務課

問 児童手当費1,012万円の内容は。

答 児童手当制度が改正され、高校生までが対象となり、第3子以降は30,000円に増額された。高校生のみの家庭には申請書を送付済み。

問 塵芥処理費11万円の増額は。

答 令和7年4月から変更されるごみ分別方法のパンフレットを、自治会未加入者へ発送する。

◆健康福祉課

問 感染症予防事業の返還金1,353万円は。

答 令和5年度に実施した新型コロナワクチン接種の実績による清算。

◆教育委員会

問 中学校教育振興費の顕微鏡購入の減額104万円は。

答 授業で必要な機能が備わった器具を選定したため。

問 七久保小学校教育振興費のタブレット端末381万円の内容は。

答 今年は七小に1台約6万円で90台を購入。中学校・飯島小は来年に回す。学校別の方が管理しやすい。

問 飯島公民館エアコン設置工事の減額450万円は。

答 公民館ごとではなく、まとめて発注したため安く出来た。

国民健康保険特別会計（第3号）

後期高齢者医療特別会計（第2号）

介護保険特別会計（第2号）

いずれも質疑なし

陳情

趣旨採択とすべきもの

国に対し「健康保険証の継続を求める意見書」の提出を求める

参考人 高坂^{しげとみ}繁富氏

質 議

問 マイナ保険証には顔写真があり、健康保険証の不正利用が防げるのでは。

答 クレジットカードでも不正はある。

討 論

趣旨採択 資格確認証は現行の紙の保険証と機能が同じで、マイナ保険証を利用できない人にも現状と同じ医療が受けられる。国が広報をもっとすべき。

趣旨採択 5 その他 0

採択すべきもの

選択的夫婦別姓の早期導入を求める意見書を国に提出することを求める

参考人 新日本婦人の会飯島支部
代表 ^{あまだ よしこ}天田良子氏

質 議

問 子どもの姓はどうなるのか。子どもが不安に感じないか。

答 それぞれの家庭が決める。世界では問題が起きてない。

討 論

賛成 国連女性差別撤廃委員会から政府に3回も勧告が出され、経済界からも要請があることを踏まえ早期に導入すべき。

賛成 5 不賛成 0

学童クラブの視察

委員会審査後に飯島小学校の学童クラブと第3の居場所建設予定地を視察した。

教室内では、皆、思い思いに楽しんでいましたが、まだまだ子ども達が学校から来るので教室内は狭そうです。



静かに宿題できないよ！

マスコミ注目の採決結果は？

12月定例会は、12月6日に開催し19日までの14日間開催。人事1件・条例4件・令和6年度補正予算6件・その他1件・陳情3件が審議された。また、修正案2件・発議3件が追加上程され審議された。（表決結果は、P.7参照）

人 事

教育委員会委員の任命同意
任期満了に伴い川村みゆき氏を選任同意。

条例改正

刑法等と関係法令の条例の一部改正

懲役と禁固を拘禁刑に統合。

町福祉医療費給付金給付条例の一部改正

児童扶養手当が高校生までを対象に給付。

町国民健康保険条例の一部改正
国の改正による。

令和6年度補正予算

一般会計（第5号）

問 中学校教育振興費の顕微鏡の減額理由は。

答 当初は高機能なものだったが、教科の先生が授業に必要な機能に変更したため。

問 中間教室と学童クラブの児童が重なることはないか。

答 時間帯が違うので大丈夫。

その他

与田切公園指定管理者の指定同意

討 論

賛成 実績があり、評価点数がトップ。町民が多く利用できることを求める。

反対 5年の管理は長い。2年にすべきだ。町内より町外利用者が多い。

陳 情

○臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める（文書配布のみ）

○業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化について（文書配布のみ）

○価格による入札方式における最低制限価格等の引き上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定について（文書配布のみ）

○建築士事務所賠償責任保険への加入について（文書配布のみ）

○2000年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設・拡充について（文書配布のみ）

○国に対し「健康保険証の継続を求める意見書」の提出を求める

討 論

趣旨探択 健康保険証が資格確認書と同様に使用できるため利用者が不安にならないように広報すべき。

○選択的夫婦別姓の早期導入を求める意見書を国に提出することを求める

○消費税率の5%への引き下げを求める

討 論

反対 5%下げることで使い道や金額が原案に示されていない。

議員発議

○資格確認書の継続と住民の不安解消に向けた取り組みを求める

○選択的夫婦別姓の早期導入を求める

○消費税5%への引き下げを求める

議員報酬の改定

原案

物価上昇率をもとに一律で215,600円に変更。

片桐議員・坂井議員 修正案

若い世代のなり手を増やすために60歳未満の議員報酬を増額。

浜田議員・三浦議員 修正案

低所得者でも議員活動ができるようにするため、報酬を多く配分する。

討 論

原案 賛成

・議員報酬には法による縛りがあり、対策は町・議会から国へ要請を考える必要がある。

片桐議員・坂井議員修正案 賛成

・住民アンケートの結果、若い人が議員になることが必要との意見が多数あった。生活費として世代に応じて増額が必要。

浜田議員・三浦議員修正案 賛成

・本来ならば同額が良いが、低額のため立候補しにくい。所得の実態に即した報酬にすべき。

アンケートの詳細は、ホームページで。

公開します〔12月定例会 審議議案と議員の賛否〕

上程議案・概要・結果 賛成：○ 不賛成：×	結果	伊藤秀明	坂井活広	折山誠	坂本紀子	宮脇寛行	浜田稔	三浦寿美子	堀内学	星野晃伸	片桐剛	吉川順平	久保島巖	参照ページ
○…賛成多数で原案を可決・認定・採択 ×…賛成少数で原案を否決・不認定・不採択 △…原案に対する修正案を賛成多数で可決・認定・採択														
注														
人事案件														
教育委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6
条例の制定及び一部改正														
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6
特別職の職員等の給与に関する条例の一部改正	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○		p6
議員報酬に関する修正案(片桐議員・坂井議員 提出)	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×		p6
議員報酬に関する修正案(浜田議員・三浦議員 提出)	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×		p6
福祉医療給付金給付の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6
国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6
令和6年度 補正予算														
一般会計(第5号) 6,648万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p4 p6
国民健康保険特別会計(第3号) 2,912万円減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p5 p6
後期高齢者医療特別会計(第2号) 265万円減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p5 p6
介護保険特別会計(第2号) 5万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p5 p6
水道事業会計(第2号) 234万円減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p4 p6
下水道事業会計(第2号) 311万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p4 p6
締結の契約など														
与田切公園の指定管理の指定	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○		p4 p6
請願・陳情														
国に対し「健康保険証の継続を求める意見書」の提出を求める	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		p5 p6
選択的夫婦別姓の早期導入を求める意見書を国に提出することを求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p5 p6
消費税率の5%への引き下げを求める	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×		p4 p6
意見書														
資格確認書の継続と住民の不安解消に向けた取り組みを求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6
選択的夫婦別姓の早期導入を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6
消費税5%への引き下げを求める	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×		p6

(注) 議長は議事進行のため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」で表明。

町政を問う

10 議員が質問

吉川 順平 **地域再生**
人が集まる市町村とは P8

宮脇 寛行 **基幹産業の農業支援**
地域を維持する農家へ支援を P9

星野 晃伸 **除雪対策**
町民と業者への除雪の考えは P9

伊藤 秀明 **中学校制服**
新制服にすると聞いたが P10

堀内 学 **消防団活動**
活動を通し地域維持の要に P10

片桐 剛 **庁舎人員体制、現状と今後の計画**
充足しているか P11

坂本 紀子 **中間教室**
移設するのか P11

三浦寿美子 **環境問題**
外来種から環境を守る条例を P12

浜田 稔 **町経済の今後**
縮小均衡から反転の構想は P12

折山 誠 **七久保診療所再開**
町出身医師との懇談を求む P13



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



地域再生

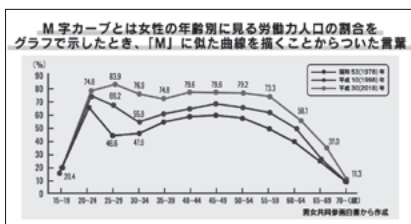
人が集まる市町村とは

吉川 順平

にぎわいをつくる町へ 町長

問 地域再生における強い自治
「人が集まる市町村」はなにが
違うのか。

町長 人が集まり、にぎわいを
つくるために、多様な多くの住
民が継続して様々な事柄に取り
組み、人づくりにも力を注ぐこ
とが重要と考える。



女性就業率のM字カーブ

問 出産後も正規で働ける環境
づくりを考えているか。

町長 育児と就労の両立できる
環境が必要であると考えます。

- ① 保育サービスの充実
- ② 病児・病後児保育への支援
- ③ 育児休暇を取りやすい環境

問 待機児童の実態は。

教育長 現段階では、待機児童
の実態はない。子育てしやすい
町の実現に向けて、今後共に考
え、課題解決をしなければならない。

地方議会の女性議員

問 町の女性議員に対する考え
方は。

町長 暮らしに直結した女性が
政治で活躍することは非常に大
事。女性の視点を生かして政策
に反映させることで、より暮ら
しやすい社会が実現していくも
のとする。

女性議員にとって安心して活躍
しやすい場所でなければ、女性議
員の比率は増加しないと考える。

地方議員の女性議員・女性議員比率

各自治体議会名	議員数	内女性議員数 (人)	割合 (%)
浜野町	14人	3人	21%
箕輪町	15人	5人	33%
南箕輪村	10人	3人	30%
・伊那市	21人	5人	24%
箕田村	12人	2人	17%
駒ヶ根市	15人	5人	33%
飯島町	12人	2人	17%
中川村	10人	1人	10%
(中郡伊那)			
松川町	14人	2人	14%
大鹿村	8人	3人	38%
長野県平均		3.6人	
全国平均		2.7人	

女性議員数調査票



基幹産業の農業支援

地域を維持する農家へ支援を

検討していく 町長

問 小規模農家応援事業補助金を大規模農家と考えられる法人へ支給した経緯は。

町長 農産物の販売を行っている事業者が対象で、経営体の規模の特段の縛りなく支給した。

問 当該補助金は農業を続けるために有効な支援。来年度も本事業の継続を希望するが。

産業振興課長 継続の方向で現在を考えている。

問 販売目的ではなく、地域を維持している農家も補助対象とすべきだが。

産業振興課長 農地を維持している農家が町の景観を支える大きな力。支援を検討していく。

問 当町の農作物の病害虫による被害状況を把握しているか。

産業振興課長 病害虫被害は、特に稲作や果樹に多い。カメムシ類による被害が顕著にみられ、例年に比べ多い傾向であった。

問 資材の高騰や病害虫の被害を受けている農家に対する町独自の支援の考えはないか。

産業振興課長 町独自の支援は予定していない。国の動向を注

視する中で物価高騰対策事業が盛り込まれた際に検討する。

防災関係

問 警戒区域内の住民に対し、防災・減災・避難などの指導を行っているか。また、有効性の評価は。

町長 自治会長を通じて一時避難先などの確認調査を行っているが、有効性の評価は行っていない。次年度発行するハザードマップに反映させたい。

問 過去10年間で安全区域に改善された警戒区域は。

建設水道課長 七久保地区に砂防堰堤を2基設置し改善した。

問 今後の警戒区域改造計画は。

建設水道課長 高遠入沢川に県事業で砂防堰堤を計画している。

12月定例会では議員10名が登壇し町政を質しました。



除雪対策

町民と業者への除雪の考えは

現在同様に支援する 町長

問 令和6年度より機械管理費が計上されたが、県との差は。

町長 県との差はない。

問 除雪作業者の待機補償は。

建設水道課長 町として待機補償は無いが、今後検討する。

問 融雪剤散布機械の更新は。

建設水道課長 機械が古くなっているのは承知している。高額なため計画的に考える。

問 高齢者住宅の玄関先除雪支援は。

建設水道課長 自治会にお願いしている。

カーブミラーの設置

問 どのようにカーブミラーの設置をしているか。

建設水道課長 自治会からの要望が基本。町で現地を調査し、現物を支給する。

問 与田切公園出入口に設置を望むが。

地域創造課長 公園入口の拡幅も考え安全対策は今後も検討していく。

国スポ後の計画は

問 国民スポーツ大会後のスポーツ公園などの計画はいつからどんなメンバーで実施するのか。

教育長 町全体のスポーツ施設の見直しを考え、多くの町民にお願いし、計画を立てていきたい。

レプリコンワクチンは安全か

問 新型コロナのワクチン接種後の副反応調査は。

健康福祉課長 調査していない。

問 レプリコンワクチンの副反応への対応は。

健康福祉課長 副反応など健康に異常を感じたらまずは医師に相談を。



中学校制服

新制服にすると聞いたが

検討することを決めた 教育長

問 制服を新しくすると聞いたが、実態は。

教育長 中学校の開校70周年を節目に、制服見直しの検討を始める予定。

問 中学校に入学するときには制服をプレゼントしてはどうか。

教育長 制服を贈呈するという話はない。小学校入学に際してはランドセル贈呈を行っているため、中学校入学や高校入学時に町として、保護者負担の軽減ができるように現在検討している。

自治会問題

問 自治会との町長懇談会において出された取り組むべき問題点はなにか。

町長 少子高齢化や人口減少問題への対応、街中のにぎわい創出・自治会の担い手不足・地域の草刈りや井ざらいの人手不足などを懸念する声が出ている。

問 すぐにでも取り組まなければならない課題と対策は。

町長 自治組織の在り方を早急に検討しなければならない。

自治会だけでなく、区や公民館・関係する組織・安協などと検討をする必要がある。

学校と地域の在り方

問 地域と交流する寄せ鍋学校を始めた動機は。

教育長 学校が地域の方と共に学ぶ関係をつくることが大切。子どもたちそれぞれの持ち味を生かす姿が見える町。その活動の一つが寄せ鍋学校の取り組み。

▶その他の質問

- ・第3の居場所について
- ・軟骨伝導イヤホンの窓口設置を



◀◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



消防団活動

活動を通し地域維持の要に

重要なつながりと認識 町長

問 定員の将来的な改革は。

町長 現在の団員数は、246人。大きく定員割れが続くようであれば現実的な数字に修正する。

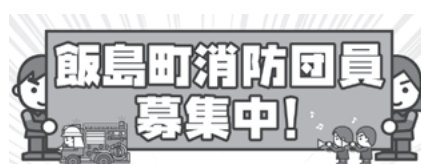
問 新入団員を勧誘しているが、成果が芳しくない。町として行っている支援はなにか。

町長 町として対策を講じているが決定的なものはない。団員の処遇改善に火災現場や消火栓の場所がわかるなどデジタル技術を活用していきたい。

問 女性団員の確保を進める中で、ラッパ隊や救護隊に専属で

入れる体制を作ってはどうか。

町長 男女問わず技能を持った方がいる。その技能に応じた募集を行っていく必要がある。



多様な能力者募集!(町HPより)

問 全団員での交流は、縦のつながりを持つことができ、課題となっている自治組織の役員なり手不足や地域の維持の要になると考えるが。

町長 コロナ禍を経過して地域のつながりが非常に希薄になっている。つながりを持つことは重要であるため幹部会にて検討をしていきたい。

伊南バイパス周辺の活用

問 令和6年3月をもって土地利用住民協定が町に集約された。経緯と土地利用の方針は。

町長 無秩序な開発などを抑制するための協定を結んでいた。今後は街部とは違ったにぎわいを形成していきたい。

問 東部保育園周辺に子育て世帯向けの定住支援を充実してはどうか。

町長 緑豊かな住宅区域を作っていきたい。



庁舎人員体制、現状と今後の計画 充足しているか

片桐 剛

与えられた仕事を遂行 町長

問 今後人口減少の中、5年～15年先の人員計画は。

副町長 現在の職員管理計画は令和7年度まで。令和8年度以降の計画はこれから。

問 充足しているか。また、どのように検証しているか。

副町長 大変難しいところ。職員一人一人は与えられた仕事、役割を責任持って遂行していると認識している。

問 職務状態の把握に日報のようなものはあるのか。

副町長 日報というものはない。

しかし、会議などの報告書が提出される。

この報告に基づいて次年度の計画に盛り込んでいく。

都市計画マスタープラン

問 町長が描く町の姿は。

町長 平成16年に現在の都市計画の基本的な方針を定めた。将来の人口増加を希望し策定。現実には人口減と少子高齢化が今後も進行することが見込まれている。

今後は、持続可能な社会の実現を目指しながら、その中で「住んでみたい・住み続けたい」まちづくりの必要がある。

問 コンパクトシティー化との構想は継続で良いか。

町長 効率化していくが、郊外を切り捨てて主要な1か所に全てを一極集中させるというコンパクトシティーではない。ハブとなる中心拠点へしっかりと機能を集中しながら地域の生活拠点を整備し、ネットワークでつないでいく。「コンパクト・プラス・ネットワーク」という形で進めて行きたい。

▶その他の質問

- ・人口減少対策と役場機能の考え
- ・働き手不足懸念、生成AI等の活用は

12月定例会では議員10名が登壇し町政を質しました。



中間教室

移設するのか

坂本 紀子

第3の居場所の一面 教育長

問 第3の居場所を約9,800万円の施設費・運営費120万円で新設する。進捗状況は。子どもや関係者の声は聞いたのか。

教育長 学童クラブと中間教室と相談室の複合施設で、B&Gの認可を受け、設計に入っている。要望を聞き、できる限り取り入れる。

問 現在の中間教室はどうするのか。

教育長 第3の居場所に移すが、子どもの様子では今の場所も使うこともある。

しかし、指導員が足りないので検討の方向。

農産物の加工施設



生産者の努力で対応中

問 花の里いいじま・役場西庁舎の加工場・本郷の道の駅は老朽化が進んでいる。衛生基準に対応出来ているか。

町長 一番古い建物で築30年が経過しているが、いずれも保健所の認可を受けている。

近年は、食品衛生法の厳格化で運営者の衛生徹底だけでは対処できない課題も考えられる。

問 個人やグループが利用料を払って施設を使えるようにすべきと考えるが。また、調理器具や冷蔵庫などを整備すべきだが。

産業振興課長 近い将来、施設や設備の抜本的な改善が必要で、加工施設の実態等を総合的に勘案して慎重に対応する。

器具などは、農産加工グループ・生産法人の意見を聞き状況調査していて検討段階。

▶その他の質問

- 1人暮らし・障がい者・高齢者・車のない方のゴミ出しや雪かき支援は



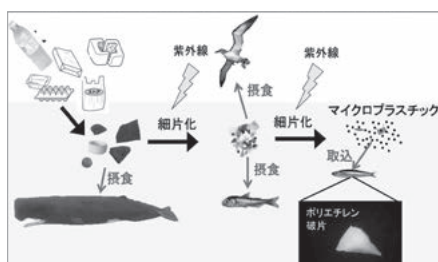
環境問題

外来種から環境を守る条例を

生物多様性に向け制定 町長

問 5ミリ以下のプラスチックをマイクロプラスチックという。人体や自然環境への影響が指摘されているが、認識は。

町長 2011年から環境省がエコチル調査※を始め、県は信大中心に上伊那8市町村が取り組み14



海に流れ込み、魚が食べ、その魚を私たちが食べている
※環境要因が子どもたちの成長・発達に、どのような影響を与えるのかを明らかにする調査

年目になる。人体への影響が非常に大きく、早急な対策が必要。

問 4つの提案をする。

- ・プラスチックの削減が優先
- ・紙や木の利用を促進
- ・リサイクル不可能なプラを削減
- ・食品包装等に必要なプラは生分解性に

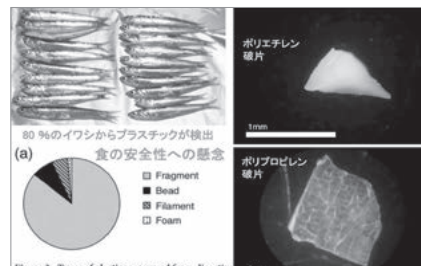
環境基本計画に盛り込まれるか。

住民税務課長 環境保全審議会で検討する。

問 「外来生物から住民や自然環境を守る条例」を策定しては。

町長 生物多様性を確保するた

めの条例をつくる。



研究者が釣ったイワシ20匹
約8割からマイクロプラスチックが検出された

高齢者補聴器購入費助成事業

問 令和5年度は申請4件、認定1件。理由は。

健康福祉課長 「世帯全員が住民税非課税であること」に該当しなかったため。

問 要綱のハードルが高い。見直しを。

健康福祉課長 3年経過。利用しやすい制度を検討する。

(出典：東京農工大 高田秀重教授 資料)



◀◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



町経済の今後

縮小均衡から反転の構想は

製造業支援施策を実施 町長

問 今議会での一般質問は、町が縮小に向かう前提の議論が多かった。

実際、当町の地方税収や自主財源は上伊那8市町村で第7位と低い。町内産業も行政施策も、縮小均衡だけの結論になりかねない。10年程度を想定した打開策はあるか。

町長 5年先までは、人口減少での住民税減収はあるものの、固定資産税は事業用資産の減免措置等の終了により増収。税収全体では12億円前後を維持す

る見込み。

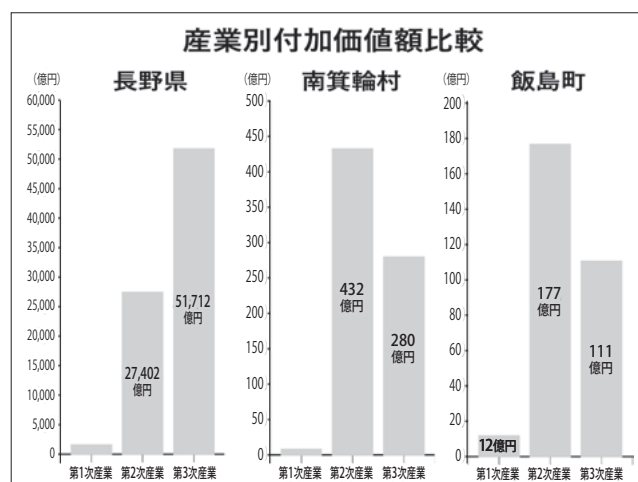
10年先の構想は無いが、地方交付税や国などの補助金も活用して、各種施策に取り組みたい。

問 産業別の付加価値額を3地域で比較した〔図〕。

県全体は第3次産業が主だが、上伊那だけは第2次産業が際だっている。当町の縮小か

らの反転には製造業の育成政策を強化すべきではないか。

町長 町内製造業は高い技術力で活躍している。地域の企業を支援する施策を進めたい。第6次総合計画に製造業を産業の中心となる施策が不足しているので、中間見直しの中で盛り込んでいきたい。





七久保診療所再開

町出身医師との懇談を求む

1月に懇談を行う 町長

問 七久保診療所再開に向けて何か動きはあったか。

町長 伊南行政組合で視察を行った。その中で、医師確保には県を越えた連携が必要と感じた。町出身の愛知県で活躍している医師と1月に懇談を行うこととした。

県道千人塚公園線

問 観光戦略では、県道千人塚公園線の大型バス運行が課題だ。本格的な路線改良には時間がかかる。応急的な交差点拡幅改良

を急ぐべきでは。

建設水道課長 交差点の角を県と協議して改良する。将来的な路線改良は引き続き県へ働きかける。



町民にわかりやすい機構改革を

役場の組織改革

問 3～4月は住民の転入出が多い。4月の人事異動は職員や職場への負担が多く、慣れない職員の窓口対応などは住民にも負担をかける。

職場替えを伴う人事異動は、10月にすべきでは。

副町長 新年度の組織機構改革もあり、大きな異動が考えられ

る。早めの内示により、引き継ぎ期間を長くする。職員負担も認識しており10月異動も念頭に置く。

追跡

あれ
どうなった

一般質問・審査での意見請願陳情 その後のゆくえ

1. 町内企業に就職した奨学金返還学生に免除制度創設を

(令和5年12月 一般質問 坂井議員)

その後 → 令和6年度4月から大学・専修学校等を卒業し、町内に定住した30歳以下の住民を対象に給付制度が開始された。

町内企業に就職若しくは起業した者は、年間24万円

町外企業に就職した者は、年間12万円

2. 自治組織の負担軽減を (令和4年3月 一般質問 浜田議員)

その後 → 令和4年4月から順次、ゴミ集積所管理費・地域づくり推進費・自治活動保険加入補助金・健康づくり協力交付金・町道除草除雪協力金は書類を提出せずに自治会の口座に支払われる。

昭和伊南病院 基本設計白紙に

議会全員で毎月会議を開催し、協議する。主な内容は以下のとおり。

10月25日

1. 町とウェルシア薬局との連携協定

店内のフリースペースで、健康増進や、地域の高齢者や子ども、妊婦などの見守りと居場所づくりの連携を目指す。

また、令和7年4月頃より町内で日用品や食品、化粧品、医薬品などを扱う移動購買車を稼働させる。

問 同協定は町独自のものか。

答 ウェルシアが協定を結んでいるのは21自治体。町独自ではない。

問 田切の里で行っている移動購買事業は赤字。後継としてウェルシアが事業を行うのか。

答 田切の里で行っている移動購買事業が厳しい。ウェルシアが行う移動購買事業に引きついでもらう。

問 フィットネスなどは、町内で既に行われている事業と競合しないか。

答 店舗内にあるウェルカフェを利用した健康教室も想定している。

問 ウェルシアには薬剤師が不在だが、配置予定は。

答 令和7年4月頃に配置の意向と聞いている。

2. 柏木運動場へのアクセス道の整備

国スポに向け、進入路を当初の計画から飯島飯田線から柏木運

動場へアクセスできるように変更。費用が1億4,000万円から7,000万円へ減額できる。

3. 与田切公園次期指定管理の候補者

伊那リゾートを指定管理者として選定。

問 伊那リゾートになって以降、イベントの来場者は町外者が多く商業的な側面が多く見られるようになったと考えるが。

答 今回の選定時も委員から「町内業者の携わりが少ないのでは」という意見が出たため、指定管理者にも伝えている。

4. 柏木運動場整備事業

令和6年度中

- ・駐車場の用地買収
- ・B&G体育館改修
- 今後の予定
- ・駐車場整備及び運動場整備
- ・実行委員会設立準備

11月19日

1. 遠州三河地域町村議会交流会提案の訪問報告

以下の町村を訪問し、交流の推進を求めた。

愛知県／幸田町・豊根村・東栄町・設楽町

静岡県／森町

2. まちびと政策プランナー会議からの提案・提言

プランナー会議にて出された提案・提言書を町長に提出した。

- ・中学生通学環境改善
- ・中学校施設整備

- ・「あつまち」プロジェクト（あつまれ！飯島の町）
- ・町内の人も町外の人も楽しめる与田切公園
- ・住民要望やアンケートに対する返答
- ・防犯灯の整備で安心安全な町づくり
- ・タウンミーティング開催の呼びかけ
- ・与田切公園マスタープラン

12月19日

1. 光をそそぐ住宅関連補助金

今年度が3年目。一旦終了し、効果検証を行う。

2. 千人塚、御座松間遊歩道の一部崩落

11月上旬の大雨により地盤の亀裂1箇所・崩落2か所。

当面の間通行止めとし、本復旧費用が2,000万円と見込まれるため、ルート変更も視野に検討。

伊南行政組合議会

1. 新病院建設事業

建設事業費が、当初の167億円から271億円へと100億円以上増加することに伴い、基本設計を見直す方針に決定した。建築単価の上昇と、病室を全て個室化とする特殊なデザインに伴う増工が要因。

いいまち 議会だより モニターのひとこと

第108号 広報紙面に対するご意見

1. 表紙

- ・楽しそうな運動会の様子が伝わってきました。
- ・園児の頑張っている姿が感じられる。もう少し全体がわかると良い。
- ・子供たちのイキイキしている姿や躍動感が伝わってとても素敵な表紙。
- ・楽しそうな運動会の様子だが、幼児や保護者が疎らなことが気になります。活気が欲しい気がします。
- ・子供の写真と特集のタイトルが関連していて伝わりやすい。
- ・運動会の写真なので季節感も感じられる。

2. 特集ページ「令和5年度 決算評価！」(要望を含む)

- ・全体的に平均点が低いと感じました。厳しい目で見えた評価だと思いますが、役場、地域おこし協力隊の方々などの活動のおかげで、年々住み良く魅力溢れる町になってきていると思います。
- ・良い点をさらに伸ばし、反省点を生かし、来年度の決算評価がより良くなることを期待します！
- ・とてもわかりやすくまとまって、読みやすかったです。
- ・点数で表すのは分かりやすい。点数が低い項目は目標や方法の再検討が必要かと思います。
- ・もっと町民の生活に直接関わる費用を増やした方が皆幸せになれると思う。

3. 定例会・各委員会

- ・B&Gのプールは子供も多く利用する施設なので、来年の営業までにぜひ改善してほしい。
- ・遊休荒廃地の問題も学童支援員不足の問題は飯島だけでなく課題になっている。
- ・介護保険の対象者減少の対応はどうするのか。様々な対策をしても介護保険の利用が必要ならサービスは提供してほしい。
- ・文化館も老朽化していますが、陣屋の本陣も傾いており、板塀が剥がれています。
- ・若手職員の減少は、役場の組織運営や町の未来にとっては大きな問題。もっと深掘りしても良い。

4. 一般質問

- ・地震も頻発する昨今では災害時の備えがとても重要だと思うのでこれからも議論を続けてほしい。
- ・希望者を募る登山は旅行会社に依頼すれば良い。西駒登山の伝統を守るという考えもあるのかと思いますが、社会のルールが変化していることや教師の負担が増えすぎていること、安全面などを考えるといまの時代には合わない。
- ・七久保診療所の再開は是非実現させてください。医師不足を実感しています。コロナのワクチンを町内ではなかなか受けられない現状があります。
- ・ラブリーとりんりんのコラボの必要性は共感する。それぞれの祭りを否定するわけではないですが、2週連続で大きめの祭りがあるのは不思議。運営側の負担や町の財政を考えると1つにまとめても良いのでは。隔年での交互開催とかでも良い。
- ・七久保に診療所を早めに再開してほしい。今年から福祉タクシー券が18枚から36枚になったので良いが、そのタクシーも1時間待ちがありました。会社によると車はあるが人手不足だそうです。帰りは薬局から同じ方向の人と相乗りしてきました。(タクシー代 薬局から自宅まで2,200円)

5. 全体を通しての意見・要望

- ・議会だよりモニターは、どのような方が関わっているのか可能な範囲で教えてください。
- ・広報委員会研修を読み、今回は全体的にとっても読みやすく、見やすくまとまっていると感じました。
- ・「あれどうなった」毎回楽しみです。言いっ放しじゃなくて改善なり対応されている。議会への期待が高まります。質問して検討してどうなったかが知ることができるのはありがたいです。
- ・一般質問のYOUTUBEに要望です。質問項目のそれぞれが動画の何分何秒頃から始まるか分かるようにしてほしい。たまに動画を見ますが、自分の興味のある一般質問を探すのが大変。
- ・毎月楽しみに読ませていただいております。
- ・ハチの駆除、街の草刈りなど、シルバー人材センターに委託するのはとても良い事だと思いますが、シルバー人材センターができない時に他に業者を紹介してくれるなど選択肢を広げた方が良いと思います。
- ・議会活動の様子がよくわかります。将来に向けての教育行政が興味深いです。
- ・ミヤマシジミが大切に育ちますように。

「議会・議員ってなあ～に」講座開催

3月の選挙に向けての議会・議員の役割や選挙のセミナー

議会は全員協議会の総意で「議会・議員ってなあ～に」と題し、
現職議員による講座を12月22日(日)に開催した。

特別職報酬等審議会の答申の中にも、「行政や議会も若い人が議員に立候補するためには、報酬を含め議会や議員の魅力を伝える方策を引き続き検討を」と記されていたこともあり、全員協議会で検討した。結果、全員賛成で「有志」という形で、議長主導での実施に踏み切った。

参加者は中学生2名、一般2名、職員2名、現職議員8名の参加であった。

内 容

1. 議会の仕組み
2. 定例会の流れ
3. 議会構成
4. 本会議の役目
5. 委員会の役目・分掌
6. 全員協議会
7. 議員は何日出るか
(100～180日)
8. 議会以外は何している？
9. 今の議員はどんな人たちか
10. なぜ議員になったか
(現職議員の発表)
11. 議員になってよかったこと
(やりがいなどの事例)
12. 議員になって困ったこと
(いつも見られている感覚がある)

13. 立候補から選挙まで
14. 公職選挙法の禁止事項
15. 公選法下でも出来ること
16. 選挙にかかる費用
17. 公費負担の制度
18. 当面必要な資金は
19. ホームページSNSの活用
と注意事項
20. 議員報酬の増額
(198,000円が215,600円に)

質疑応答

問 女性議員が5人いたのに、
2人になってしまった要因は。

答 立候補を取りやめた女性議員は、家庭の事情や推薦母体の事由であったと捉えている。

問 報酬は仕事に対して少ないと思う。住民も負担し、議

員は誠実に働いて貰う意識が必要と考えるが。

答 市議会議員なら、専任もできるが、町村は厳しい。国に年金や養育手当・市議会議員並みにする報酬用の交付金増額を求めたい。講座をとおして、議会の役目など周知していく必要もある。

まとめ

参加者は少なかったが、数多くのマスコミに取り上げてもらうことで、開催した価値があったのではと考える。最終的には「なり手不足」解消の一手になれば幸い。今後も、要望があれば「出前講座」風にできたら良いと感じながら閉会した。



あなたも議員になりま専科

議会だより

クイズ



《問題》

中学生が飯島をPRした場所は、

〇〇NAGANO

答えはP.3

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

(締切は2/28、発表は発送をもってかえさせていただきます)

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見など
をご記入のうえ、いいちゃんポスト・
QRコードで、飯島町議会事務局
議会だよりクイズ係宛まで



発行責任者／議長 久保島 巖

編集委員／◎堀内・◎坂本・伊藤・坂井・宮脇・片桐

あなたの声を議会だより ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail: iijima-gikai@cek.ne.jp

いいじまち 議会だより 109号

いいじまち議会だより

第109号

発行・飯島町議会

〒399-3797

長野県上伊那郡飯島町飯島2537番地

編集・議会広報委員会

印刷・(株)宮澤印刷